

# なえぼん通信

NPO法人  
ジャイフル

保護者の皆様へ

放課後等デイサービスなえぼん

代表 渡邊 隆史

いつも「なえぼん」をご利用いただきありがとうございます。

連日報道にありますように「新型コロナウイルス」に伴う全国の小中学校等が臨時休講または分散登校することとなりましたが、「なえぼん」では、子どもたちの居場所の確保並びに保護者支援が困難な状況との声を踏まえ、通常通り開所しております。

現在、子どもたちの受け入れをするにあたって、実施している感染症対策は以下の通りになります。

- ・職員及び子どもたちへの検温の実施及び手洗い、うがい(紙コップ利用)
- ・室内除菌(加湿器に空間除菌剤を注入)
- ・体調確認
- ・施設内のアルコール消毒(机、椅子、ドアノブなど接触する箇所)、清掃
- ・行事の中止または延期



また、保護者並びにお子様の皆様に、ご協力をお願いがございます。

## 利用児童及び同居家族に新型コロナウイルスに感染があった場合

・医師が感染する可能性がないと判断されるまで利用できません。※もし感染がわかった場合は、ご連絡願います。利用日に感染確認された場合は、保護者全員に周知いたします。

・来所の際に37.5度以上の発熱、のどの痛み、鼻水や咳などの症状がある場合は、利用をお断りさせていただく場合がございます。その際は、お子様にマスクを着用させ、保護者へ連絡いたします。

・送迎の際、送迎車に乗車する前に車内にて検温をして発熱(37.5度以上)がある場合は、利用をお断りさせていただく場合がございます。

・お子様には、なるべくマスクを着用させていただくようお願いします。また、スタッフもマスクを着用して療育にあたる場合がございます。

・療育の間など1時間毎に5～10分程度の換気をさせていただきます。室温が下がり、ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力お願い致します。





# 個性に応じた支援



(苦手な部分を改善する手だて)

皆さんも教育センターや医療機関などでWSC-IVをとられたことがあるかと思います。

特に、相談としては「忘れ物・整理整頓が苦手」「板書に時間がかかる」「複雑な漢字が書けない」「文章題や図形が苦手」「人に嫌なことを言ってしまう」「場に合った会話が難しい」「卒業後の進路」

などがあるようです。困り感の背景がわからない時は、WSC-IV等の検査を行い、物事の捉え方(認知)の特徴を把握することが大切です。

## 4つの項目

言語理解

知覚統合  
(目からの入力)

ワーキングメモリー  
(耳からの入力)

処理速度  
(手早さ)

を把握します。

### 言語理解の力が落ち込んでる場合…

言葉だけではなく、できるだけ具体物を使いながら、簡単な表現で短く説明することが効果的です。文章題では、問題の内容を図示することも効果的です。



### 言語理解の力が落ち込んでる場合…

メモを取り、確認する習慣をつけること、家族などのまわりの人も一緒にメモを見て確認する支援が記憶の定着を速めます。

### 処理速度が落ち込んでる場合…

「早くしなさい」と急がせてはいけません。少し早めに始めさせることが必要です。拡大コピーしたプリントを書かせたり、大きなマス目のノートに書かせることで見違えるように取り組めることがあります。

### 知覚統合が落ち込んでる場合…

イメージすることが苦手な場合、場違いな発言や他人の気持ちが想像できないことがあります。記憶が新鮮なうちに自分の言葉で振り返ることを支援しその経験から対処法の引き出しを増やしていくことが大切です。